

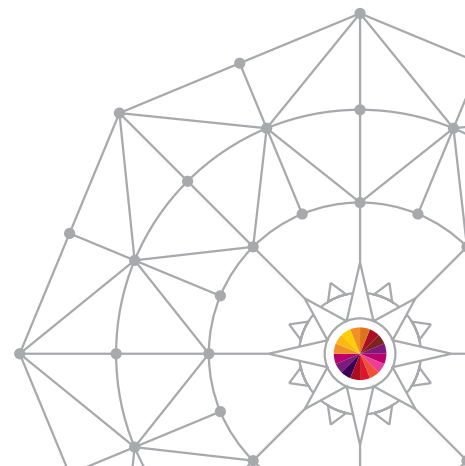


Visa

商取引を可能にする世界最大級の電子決済ネットワーク

進化の
原動力

IBM



「Visa では、商取引がシンプルになり、世界中のどこにいてもトランザクションの安全性が確保されます。販売者にとっては、新しい顧客を獲得し、トランザクションをより安全に、大規模に、しかもビジネスの成長を促進するような方法で処理するための手段になります。また、消費者にとっては、生活の中でしたいことができるように助けてくれる存在になります」

Sam Shrauger

Senior Vice President, Digital Solutions, Visa Inc.

信頼性の高い支払い手段 — 誰でも、どこでも

Visa は、50 年以上にわたってすべての主要な決済テクノロジーの最前線に立ってきました。現在、Visa は 200 の国と地域に事業を展開しており、その製品とサービスはカード、ラップトップ、タブレット、モバイル・デバイスなど、あらゆるデバイスで利用できます。2013 年には、20 億人以上の顧客と 3,600 万の販売者をつなぎ、処理した支払い金額の合計は 7 兆ドル近くに達しました。Visa は将来を見据え、あらゆる場所で、すべての人が利用できる革新的な支払い方法を他に先駆けて開発しています。



チャンネルを問わず、すべてのトランザクションが、安全性、信頼性、利便性を保証する優れたインフラストラクチャーによって支えられています。

トランザクションから変革まで

革新は Visa ブランドと同義です。今でも Visa はデジタル支払いの革命の最前線に立っています。Visa は、世界中で顧客が安全かつ便利に商取引を行えるように、常に新しいソリューションを導入しています。その好例が携帯電話の使用に見られます。米国のような先進国では、レジでスマートフォンをかざすだけで支払いができる一方、ルワンダのような発展途上国では、他に金融サービスを利用する手段を持たない顧客が、携帯電話を入金と支払いの手段として使用できます。

実際に、世界全体で電子支払いは消費者支出の 40% を占めており¹、より多くの消費者がより多くの場所で電子支払いの利便性を継続的に享受できるようにするために、Visa は VisaNet を構築しました。このリアルタイムのグローバル支払いネットワークは、毎秒 47,000 以上のトランザクション・メッセー

ジを処理でき、稼働率は 99.999% に達しています。現在、VisaNet は年に 900 億近くのトランザクションを処理しています²。本来の汎用クレジット・カードから、デジタル・チャネルを利用した全支払い機能まで、Visa は常に将来の商取引のために道を開いてきました。

商取引のプラットフォーム

こうしたすべての特筆すべき革新の背後には、商取引を常に進化させるという Visa の使命を支える優れたインフラストラクチャーが存在します。IBM メインフレームは、優れたセキュリティー、拡張性、可用性を可能にし、Visa がそうした高いレベルのサービスと信頼性を提供できるようにするために欠かせない要素であり、Visa ブランドと VisaNet 支払いネットワークの基盤となるテクノロジーをサポートしています。過去 20 年以上にわたって、Visa はホリデー・ショッピング・シーズン中のダウンタイムをゼロに抑えています³。これは、VisaNet とそれを支えるテクノロジーに対する重要な証です。



「Visa が成し遂げたことを誇りに思っています。過去 50 年にわたって、商取引を変革し、商取引を可能にしてきました。毎日、消費者が支払い、販売者が支払いを受け付けるための新しい方法を追加しており、そのことによって当社の観点からグローバル経済を変えつつあります」

Sam Shrauger

Senior Vice President, Digital Solutions, Visa

「過去 20 年にわたって、ホリデー・ショッピング・シーズン中のダウンタイムをゼロに抑えてきましたが、そのことが VisaNet の設計方法だけでなく、IBM とのパートナーシップに対する重要な証になっています」

Jim McCarthy

Senior Vice President, Innovation and Strategic Partnerships, Visa Inc.

モバイル

Visa は、モバイルが商取引の新たなフロンティアだと考えています。クラウドベースの支払い方法のサポートにより、金融機関は、モバイル支払い方法を安全に導入し、スマートフォンでの支払いを可能にする新たなオプションが得られます。Visa のアカウント情報をスマートフォン内の安全なチップに保存するだけでなく、その情報を安全な仮想クラウドにホストすることが可能になります。Visa は Android モバイル・ユーザーが Host Card Emulation (HCE) を使用できるようにするテクノロジーを初めて導入しています。このネイティブ機能により、スマートフォンをかざすだけの支払いが可能になると同時に、金融機関はその支払勘定を安全にホストできるようになります⁴。

セキュリティ

情報の安全性に対する信頼は、金融における最も重要な要素です。そのため、Visa は、従来のチャネルと新しい革新的なチャネルにおける支払いの安全性を最優先課題の1つにしています。ワンタイム使用データ、リアルタイムのトランザクション分析、支払いトークン、デバイス指紋テクノロジーを始めとする多くの手段によって、許可のないアカウント・アクセスに対する防御が多層化されています⁴。

オープンソース

Visa は、発展途上国では創造性とコラボレーションを育成することが重要だと考えています。さらに多くのオフリングにわたってモ

バイルおよびオンラインの支払いをサポートするために、Visa Developer Program を発足させました。これは、e-コマースを使用する販売者、モバイル・ネットワーク事業者、ゲーム・デベロッパー、およびその他の金融機関に対して、SDK、支払いに関する専門知識、オープン API、およびその他の開発ツールを Visa から提供するオンライン・リソース・ハブです。

将来を見据えて

Visa は、現在の顧客の安全とセキュリティーを注視しながら、次の画期的な支払いテクノロジーの開発に取り組んでいます。その過程で、他の関係者がその優れた支払いシステムを中心にイノベーションを推進できるようにしています。Visa が最終的に目指しているのは、世界中の消費者と販売者をつなぐことです。つまり、境界を引き下げ、商取引によって新しい形で常に人々が集うことができるようにすることです。



Visa について

Visa Inc. (NYSE: V) は、200 以上の国と地域で、高速で安全な、信頼性の高い電子支払いのために消費者、企業、金融機関、政府機関をつなぐグローバルな決済テクノロジー会社です。Visa は、世界最先端の処理ネットワークの1つである VisaNet を運営しています。このネットワークは、毎秒 47,000 以上のトランザクション・メッセージを処理する能力があり、消費者には不正保護を、販売者には支払いの保証を提供します。Visa は銀行ではないため、消費者に対するカードの発行、信用枠の拡大、レートと手数料の設定は行いません。しかし、Visa のイノベーションにより、金融機関の顧客は消費者により多くの選択肢(デビットでの即時支払い、プリペイドによる事前支払い、クレジットによる後払い)を提供できます。

詳細については、corporate.visa.com および [@VisaNews](https://twitter.com/VisaNews) をご覧ください。

出典

1. SEC Filings; Euromonitor, March 2013; Oxford Economics;
2. Visa, Data on file. Figures as of December 31, 2013.
3. Interview transcript, Jim McCarthy. March 19, 2014.
4. Visa to Enable Secure, Cloud-based Mobile Payments. Visa Investor website. February 19, 2014. <http://investor.visa.com/news/news-details/2014/Visa-to-Enable-Secure-Cloud-Based-Mobile-Payments/default.aspx>. Accessed March 31, 2014.